

令和7年度単独道路維持管理（委託） AIを活用した路面損傷検出業務委託
審査基準

1 審査方法

- (1) 提案者から提出された書類及びプレゼンテーションの内容について審査を行う。
- (2) ヒアリングでは企画提案書に記載された事項について質疑応答を行う。
- (3) ヒアリング時の追加資料は受理しない。
- (4) 予算限度額を超える場合は失格とする。

2 審査項目、内容、配点

審査項目		判断基準	配点
書類審査	サービスの利用実績	サービスの利用実績について（①②の合計で最大5件） ①道路管理者において、契約期間が6か月以上のサービスの利用実績がある。 評価4×最大5件 ②道路管理者において、契約期間が6か月未満のサービスの利用実績がある。 評価2×最大5件 なお、令和2年以降に契約したものに限る。 また、同じ発注元の実績は1件までとする。	20
	AI検知の精度	道路の損傷を検知するための十分な精度があるか。 点検支援技術性能力タログ【道路巡視編（ポットホール、区画線、建築限界、標識隠れ）】において、「ポットホール」の試験結果のうち、最も高い検出率で判断する。 ①90～100% ②80～90% ③70～80% ④60～70%	① 20 ② 14 ③ 7 ④ 0
	スケジュール	サービスを早期に開始できるか。 ①令和8年4月1日から開始できる。 ②令和8年7月1日までに開始できる。 ③令和8年7月1日以降に開始できる。	① 10 ② 5 ③ 0
ヒアリング	データの解析頻度	パトロール業務を補完する観点から、データの解析頻度で評価する。（交通量の多い路線でも可） 優 1日1回以上の頻度で解析できる 良 1週間に1回以上の頻度で解析できる 可 1週間に1回未満の頻度で解析できる	優 20 良 10 可 0
	提案内容の的確性・実現性	仕様書の内容を踏まえ、的確かつ明確に提案されているか。 ⇒目的を十分に理解した提案がされており、群馬県の道路パトロール事情に適している場合に優位に評価する。	優 15 良 10 可 5 不可 0
	付帯機能	仕様書で定めた事項以外の機能で、道路管理業務において有効活用できるものがあるか。 ⇒ポットホール以外の道路損傷の検知、パトロール報告書自動作成、取得した動画や画像の閲覧等の仕様書で定めた事項以外の機能で有用なものを評価する。	優 15 良 10 可 5 不可 0
合 計			100
参考見積	予算限度額を超える場合は特定しない。		数値化しない